

渡り鳥が安心して休める 干潟をいつまでも 多摩川河口の自然と神奈川口構想

2008年9月5日(金) 18:30~ (開場 18:00)

会場 横浜市 開港記念会館 1階1号室

主催 NPO法人神奈川県自然保護協会 後援 神奈川県(予定)

東京国際空港(羽田)の沖合への拡張工事が進んでいます。
これに伴い、神奈川県などが京浜臨海部活性化等のために神奈川口構想を進めています。
神奈川口構想の連絡道路のルートは神奈川県内では最後に残った干潟である、多摩川河口を横断することが考えられます。干潟の自然と人の共生を図るためにどのような知恵があるのでしょうか?

プログラム

主催者挨拶 新堀豊彦 神奈川県自然保護協会理事長

講演 干潟の開発と社会システム

清野聡子氏 東京大学大学院助教

講演 多摩川河口干潟の現状(仮)

安元 順氏 多摩川流域ネットワーク

講演 神奈川口構想の現状について

鈴木 仁氏 神奈川県県土整備部都市計画課神奈川口基盤整備調整室長

質疑応答 司会 青砥航次 神奈川県自然保護協会副理事長

閉会 20:45

NPO法人 神奈川県自然保護協会

<http://www.eco-kana.org/>

(横浜市南区宿町 3-54 メゾンド蒔田1階)

Eメール nacs-kana-office01@eco-kana.org

問い合わせ先 046-222-2356(青砥)